

頭張れ店長

新人歓迎の行事は

「新入社員を迎える季節です。まだ半人前ながらも、可能性を秘めた初々しい新人に、この業界に初めて足を踏み入れた頃のことを思い出さず先輩たちも多いのではないのでしょうか。その新入社員を迎える歓迎行事。どんな洗礼を受けるのか、各地の店長さんたちに聞きました。

印象に残るのは海岸清掃

「新入社員は例年、4月1日から1週間、海辺のホテルで研修です。朝6時に起床したらラジオ体操と砂浜をジョギング、そして夜遅くまで座学やロールプレイングが続きますから学生気分が完全に吹き飛びます。最後の日は昼食を終えたら海岸清掃です。いつもジョギングで走る範囲を横一列になってゴミ拾いをするのですが、範囲が広いので夕方までかかります。研修の感想を聞くと、半日かかるとの海岸清掃は辛かったけれど一番印象に残りました、と口を揃えています」（中部・A店長）

歓迎行事というよりは研修の一環ですが、会社は各店舗で地域清掃の力を入れていて、スタッフは地域清掃をするたびに研修での海岸清掃を思い出さずです。

大山登山でグループ行動

「5日間の新入社員導入研修の最終日は神奈川県丹沢の大山登山です。標高が1200m台ですから本格的な登山というよりハイキングという感じですが、4人ずつグループになって自分たちが選んだコースを登っていきます。最近の若いのはグループで行動することが少なく、リーダーを決めたり、指示を伝えたりという職場で必要なスキルを学ぶ狙いがあります。運動不足の人は遅れがちで、仲間が荷物を持つなどフォローすることもあります。全員無事に下山したら茶屋で反省会をやって打ち上げで研修を終えます」（関東・B店長）

大山は昔から雨乞いの山として信仰の対象で見所が多く、何本ものコースがあります。ケーブルカ

ーも通っていますが、もちろん研修では利用禁止です。

山で行方不明、翌年中止

「以前、新入社員の導入研修で、研修会場のホテルの近くの山でオリエンテーリングを行っていました。3〜4人がチームを組んで、渡された地図をもとに予め用意したポイントを探し回るという競技です。参加者も楽しんでやっていました。しかし、ある年のオリエンテーリングで、1組のチームが道に迷って行方不明になり、スタッフが探し回って夜になって発見されたことがあり、翌年から中止になってしまいました」（中部・C店長）

オリエンテーリングの代わりに始まったのが、3〜4人のチーム単位で行う20km走。実際は半日ばかりで歩くのですが、これもチームワークを学べるそうです。

人柄分かる質問タイム

「新入社員は本社の集合研修で徹底的に搾られて店に配属されるので、店では精いっぱい歓迎してやります。まだ桜が咲

店長からの投稿

同じチェーン

ン店でも店によって雰囲気は違う

もので、2年前に今の店に店長として異動して

きたときは、スタッフの頭が固いというか、真面目だけ

れど仕事に余裕がないのです。そこで日替わりでスタッフを飲

みに連れ出したり、食べ歩いたりしましたが、いちばん効果的だった

のが遊びの奨励。倉庫の一角をプレイルームに改造して、カードゲームの

テーブルやルーレットを取り揃え、休憩時間に遊んでもらっています。スマ

ホのゲームで時間つぶしをするのに比べて、顔を合わせてゲームをすることでス

タッフ同士のコミュニケーションが増えたと、遊びを楽しむ余裕が出てきたよう

ゲーム設備揃え遊んでもらうとスタッフに余裕

です。会社には、カジノが解禁になったら当社も運営に参入するための従業員教育ですと言って、備品を購入しました。今度はビリヤード台も欲しいです。（関東・店長）

いていけば近くの公園で花見ですが、花が散っていたり天気が悪ければ近くの店でやります。歓迎会の目玉は質問タイム。座が盛り上がったところで、先輩たちが1回ずつ新人に質問します。「付き合っている人はいますか?」「これまでの人生で一番感動したこととは?」など。セクハラやパワハラになりそうな質問は私が「ブー、今のは却下」と差し止めます

が、これで新人の人となりかわかり、先輩たちに可愛がってもらおうというわけです」(近畿・D店長)

営業時間が長いホールでは、全員参加の歓迎会が難しいもの。そこで2回に分けてやるケースもあります。

15分のパフォーマンス

「店でやる新入社員歓迎会は、スタッフを半分ずつに分けて2回やります。その歓迎会では、新入社員には何でもいから15分間のパフォーマンスをやらせるのが恒例になっています。歌でもダンスでも漫談でも、とにかく先輩たちに楽しんでもらうパフォーマンスをすることで、度胸をつけて接客に自信を持たせようというのです。とはいっても、たいていはスベってさんざんな目にあうのですが、歓迎会は2回あり、最初の失敗を踏まえて改良してくるので、2回目は何とか見られるものになっています」(中部・E店長)

新入社員のパフォーマンスは初々しいところがいいのですが、学生時代に落語研究会にいたという新入社員は手慣れた落語で15分間こなし、かえって座がしらけてしまったそうです。

新人が歓迎会を仕切る

「ユニークなのは、歓迎会の準備を新入社員自身が行うことです。先輩に相談しながら、卓球練習場やボーリング場を予約したり、飲食店を下見したり、歓迎会のプログラムをつくったりします。宴席の進行も新人の役割なので、多くの人の前で話す経験をしたり、先輩の名前と顔を覚えたり、新人にとって厳しいけれども早く一人前になるよい経験です」(関東・F店長)

Q&A紹介を貼り出す

「店では特に新入社員歓迎会をしません。Q&A形式の自己紹介文を書いてもらい、休憩室に貼り出します。Qは先輩たちがつくり、『初恋はいつ誰が相手でしたか?』『面接で会った営業部長の第一印象は?』『無人島に1つだけ持っていくとしたら何を?』などの質問に回答する形なので、結構楽しめず。先輩たちはそれを話題に声をかけることも多いです」

(中部・G店長)

期待と不安で入社する新人たち。それを迎える先輩たちもかつては新入社員でした。その当手を思い出しながら、温かい目で見守って欲しいものです。